

令和3年10月27日  
ぐんまみらい信用組合

## 第16回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第16回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第17回会議は、令和3年度仮決算状況を踏まえて令和4年2月頃に開催する予定にしております。

### 記

#### 1. 日 時

令和3年8月23日(月) 午前11時00分～午後0時20分

#### 2. 場 所

ホテルサンダーソン 2階 会議室

#### 3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

石川 利一 (公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)

石綿 和夫 (高崎商工会議所 専務理事)

小林 優公 (弁護士)

樋口 努 (群馬県商工会連合会 専務理事)

矢野 修一 (公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

八高 武 (理事長)

吉野 健 (専務理事)

新井 伸章 (常務理事)

多胡 忠浩 (常勤理事)

高橋 茂信 (常勤理事)

大野 米雄 (常勤監事)

#### 4. 八高理事長挨拶

経営諮問会議の開催前に、6月24日開催の当組合通常総代会において役員改選がありましたので、新執行体制並びに新任役員についてご報告した。

皆さんこんにちは。本日は公私共にお忙しい中、「第16回経営諮問会議」にご出席を賜り

誠に有難うございます。また、平素は当組合の業務運営に当たり、ご支援・ご協力を賜り重ねて御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症が発生して1年半が過ぎました。加えて、8月20日～9月12日まで緊急事態宣言が発令され、金融環境や経済見通しにも更なる厳しさが予想され、リーマンショックや東日本大震災では経験しなかった未曾有の状況が続いております。

当組合は、新型コロナウイルス感染症の影響から役職員の感染防止対策の徹底と取引先の資金繰り支援や経営サポートを最優先した取組みを実施しています。

県内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響から先行きが不透明であり、コロナ禍による物流・資材不足の調達の遅れや値上げ等から収益確保の厳しさが続く中、個人消費や設備投資は低水準で推移しており、緊急事態宣言や不要不急の外出抑制等から、飲食店の時間短縮や観光客の激減、更には大規模イベント等の中止や自粛等により景気回復に向けての諸施策や支援が続いております。

当組合第9期（令和2年度）は、第3期経営強化計画の最終年度（3年目）に当たり、計画の諸施策の実現に向け役職員一丸となって取り組みました。その結果、本業を示す「コア業務純益」は、前期比52百万円増加の573百万円となり、当期純利益99百万円の黒字決算となりました。

今年度からスタートした当組合の第4期3ヵ年経営強化計画では、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた場合、当組合は地域金融機関として金融機能を発揮してお客様に寄り添った支援を継続していく責任があることから「総合コンサルティング部」を創設し、融資特化型営業と合わせ収益確保に向け積極的に取組んでいきます。そうした金融機関を目指すためには、本業の利益を確保できる体制整備と健全性を確保した体質強化を図り、更なる信用コスト削減に向けた取り組み強化や店舗再編にも着手して行き、配当や公的資金返済原資の確保に向けて、効率化に取り組まなければなりません。

環境構造の変化やコロナの収束が見通せない事から、金融環境は更に厳しさが予想されており、組合経営を担う経営者の責務は非常に大きいものと実感しております。これからも、地域に愛され、必要とされる「ぐんまみらい信用組合」を目指し、役職員一丸となって取り組みして行きます。

経営諮問委員の皆様方には、新型コロナウイルスの感染防止対策にご留意され、更なるご活躍を心よりご祈念申し上げますと共に、引き続き当組合の運営に対して、ご助言・ご提案を頂ければと考えております。本日は宜しくお願い致します。

## 5. 当組合からの説明要旨

当組合より以下の内容について説明いたしました。

- ① 令和3年3月期決算の状況について
- ② 第3期経営強化計画の進捗状況について
- ③ 第15回経営諮問会議のご意見・ご提言の取組状況について

## 6. 意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- ・令和3年3月期決算が2期連続黒字ということで、理事長を始め役職員の皆様には大変

なご苦勞があったことと思う。評価すべきことかと思う。

- 被相続人が亡くなった時点の預金残高、その前の3年ないし5年間における預金取引がどの様になっているのか、遺産分割の中で争われるケースが非常に多くなっており、本人確認がどの様に行われているのか、どうすべきか、という問いが一つあると思う。
- 企業組織では、人材育成が一番重要な課題だと思う。今後も職員のモチベーションを高く維持する取組みに注力して頂きたいと思う。
- コロナ融資の関係も据置期間が終了し、返済が始まっている所もありますので、緊急事態宣言ということで厳しくなりましたが、更に融資先の支援をお願いしたいと思う。
- SDGsは、綺麗事ではなくて、本当に大きな経営課題でありこれから先コロナで大変なので、実現できませんでは済まされない課題としてあるということを認識していかなければいけないと思う。

以 上